

令和〇〇年〇〇月〇〇日

湧水町農業委員会 会長

様

農地利用最適化推進委員候補者推薦書（法人・団体等用）

1 推薦を受ける者（農地利用最適化推進委員の候補者名）

ふりがな	ゆうすい たろう	性別	生年月日（年齢）
氏 名	湧水 太郎 ㊟	（男）・女	S 〇〇年〇〇月〇〇日生（ 〇〇歳）
住 所	湧水町木場〇〇〇番地		
職 業	農業	勤務先	なし
経 歴	別紙1のとおり	農業経営の状況	別紙2のとおり
推薦受諾地区	長谷地区		
推薦受諾理由	長年農業を営んでいるが、今後の本町の農業振興のためには、担い手への農地の集積による農地の有効活用が不可欠であると感じている。今回行政区から推薦されましたので、農地利用最適化のために、農地利用最適化推進委員として活動したい。		

2 推薦する者（団体又は法人）

ふ り が な	ながたにぎょうせいく	ふりがな	くちょう よしまついちろう
名 称	長 谷 行 政 区	代表者又は 管理人の氏名	区長 吉松 一郎 ㊟
法人等の所在地 又は代表者の住所	湧水町木場△△△番地		
法人等の設立目的	地区行政区	構成員 の数	500人
構成員たる資格その他組織 の性格を明らかにする事項	会則（省略）		

裏面へ続く

推薦の理由	
湧水太郎氏は〇〇集落において、水稻と畜産の複合経営による農業を営まれている。長年農業に従事されており、農業に対する識見や技術等優れており、地区の農業の中心的な役割を果たされています。 人物的にも温厚誠実で、地区住民からも頼りにされる存在です。 これらのことから、応募資格である、「農業に識見があり、農地等の農地利用最適化の推進に関する事項農業委員会の業務を適切に行う者。」であると認め、行政区から農地利用最適化推進委員に推薦いたします。	
農業委員会委員への推薦の有無	☐ 有 ☒ 無

- 添付書類
- 1 農地利用最適化推進委員候補者経歴書（別紙1）
 - 2 農地利用最適化推進委員候補者の農業経営の状況（別紙2）
 - 3 農地利用最適化推進委員候補者等の個人情報の取扱いに関する同意書（別紙3）

別紙 1

農地利用最適化推進委員候補者経歴書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

氏名・生年月日

ふりがな	ゆうすい たろう	生年月日	S〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇歳
氏 名	湧水 太郎		

最終学歴

学校名	学部・学科	入学・卒業等年月日	
〇〇農林高校	園芸課	S〇〇年3月	入学・卒業・卒業見込・中退

職歴

勤 務 先	勤務（仕事）内容	役 職	在 職 期 間
〇〇(株)	製造業		S〇〇年4月～S△△年3月
農業	水稻・畜産		S△△年4月～現在

公職歴

公職名（団体名）	役 職	在 職 期 間
なし		年 月～ 年 月

農地利用最適化推進委員候補者の農業経営の状況

令和〇〇年〇〇月〇〇日

氏名・生年月日

ふりがな	ゆうすい たろう	生年月日	S〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇歳
氏 名	湧水 太郎		

家族構成

氏名	続柄	年齢	職業	農業従事日数	備考
湧水 太郎	世帯主	〇〇歳	農業	年間 330日	
湧水 花子	妻	〇〇歳	農業	年間 250日	
				年間 日	
				年間 日	
				年間 日	

農地面積

地 目	面積 (a)
田	230
畑	
採草地	50
その他	
合 計	280

農業用施設

種類	建物棟数
作業場	棟
畜舎	1 棟
ビニールハウス	棟
ガラスハウス	棟

農業経営の状況

作物・家畜等名	面積・頭羽数	備 考
水 稻	230 a	
畜産 (子牛)	10頭	

**農地利用最適化推進委員候補者等の
個人情報の取扱に関する同意書**

湧水町農地利用最適化推進委員の推薦を受ける者又は応募する者、若しくは推薦する者として、推薦書・応募申込書に記載した個人情報の取扱について、次の事項について同意します。

- 1 推薦書・応募申込書に記載した個人情報を確認するため、湧水町長が関係市町村に対し戸籍情報・住民記録等を照会することに同意します。
- 2 推薦書・応募申込書に記載した個人情報（住所等を除く。）について、湧水町長が公表することに同意します。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

区 分	ふりがな 氏 名	住 所 等
推薦を受ける者 又は応募する者 (農地利用最適化推進委員候補者)	ゆうすい たろう 湧水 太郎 ㊞	住所 湧水町木場〇〇〇番地 本籍 同上 電話 74 - 〇〇〇〇
推薦をする者	代表者 長谷行政区 区長 吉松一郎 ㊞	住所 湧水町木場△△△番地 電話 74 - 〇〇〇〇
	印	住所 電話
	印	住所 電話
	印	住所 電話
	印	住所 電話